

ドローンでカワウに立ちむかう！

近年増加するカワウは、河川での魚類の食害のほか、住宅地の営巣周辺の糞害（木枯れや倒木、においなど）も問題となっています。これらの対策と繁殖抑制を目的に、他県の実例紹介とドローン演習を交えながら、7/1、2に坪井潤一さん（中央水産研究所）によるカワウ対策研修会が行われました。



↑ドライアイス投入装置の説明をする坪井さん（天竜川漁協にて）

1. 静岡県周辺のカワウ分布と行動範囲



カワウ対策の基本的な考え方
(ねぐら・コロニー)

小規模なもの

大規模なもの



増やさない



繁殖抑制

2. 坪井さんが提案するカワウ対策

① 内陸のコロニーはつぶす（除去）

➡ **ビニルテープで追払い**

- ・ビニルテープ自体が飛来等の障害になる
- ・風になびくテープの音で怖がる

② 撃てる大規模コロニーは

➡ **エアライフル捕獲（駆除）**

- ・猟友会の協力が必要
- ・銃の射程距離にないと撃てない。
- ・漁期中は人への危険が伴う。

大井川は、鮎漁期中のカワウ駆除は事故防止のため行っていません。

③ 撃てない場所の中規模コロニーは ドライアイス投入 (壊死卵の抱卵による繁殖抑制)

- ・コストと技術が必要
- ・県などへ諸手続きが必要

H30成果:ファントム4で投入可能に



2018/06/19 山梨県下曽根コロニー

実施有無はドライアイスに着色料を混ぜ、卵の色で識別しています。（研修会資料より）